

# 事務事業評価シート

(R1)No.	1465	(H30)No.	1465
---------	------	----------	------

事務事業名	幼児教育推進体制構築事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	山村 浩由	

会計区分	事業コード	462415
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	教育振興費
項	教育総務費	(小事業名)
目	教育振興費	幼児教育推進体制構築事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
保育所(園)、幼稚園、小中学校の連携をより強化するとともに、保育士・幼稚園教職員の資質・能力の向上、名張版の教育課程の策定等により、小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続を行います。
事業内容
小学校と幼稚園・保育所を巡回する幼児教育アドバイザーを配置し、相互の職員への指導を行います。また、名張版「スタートカリキュラム」を策定し、指導内容・指導方法を明確にするとともに、名張市のめざす小中一貫教育を推進し、就学前1年の幼児をプレ小学生とし、学校体制を前期課程5年、後期課程5年で行う基礎をつくります。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)			
主な事業の実績・計画	幼児教育アドバイザー4名の体制で、月1～2回、就学先小学校の授業状況を参観し、名張版「スタートカリキュラム」の確立を目指す。あわせて幼稚園・保育所(園)教育施設を巡回し、園内リーダーとの連携により、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)
			小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		2,290千円		0千円	0千円	0千円	0千円
内訳(千円)							
国・県支出金		2,290		0	0	0	
地方債							
その他( )							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.28人		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
臨時職員等		0.02人		0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	0千円	2,136千円	0千円	636千円	636千円	636千円	636千円
①+②総事業費	0千円	4,426千円	0千円	636千円	636千円	636千円	636千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張市では、小中一貫教育(4-5制)の推進とともに、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続について研究し、5-5制の教育課程の検討を進める中、本事業を受託し、3年間取り組んできました。平成30年度は、幼児教育アドバイザー4名が、市内幼稚園、保育所(園)、子ども園及び小学校を巡回し、接続期の幼児・児童の状況を把握するとともに、接続期のカリキュラム「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」について試行版の実践検証により完成版を作成しました。このカリキュラムに基づく実践を市内全ての園で推進することにより、連続性のある一貫した教育が実現し、子どもたちに夢を実現する力・社会を拓く力が育まれるものと思われまます。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(縮小)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
5-5制の教育体制の構築の基礎として、市内各園での「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」に基づく実践をさらに推進します。また、幼児教育保育関係者と学校教育関係者による合同研修会を充実させ、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続をめざすため、関係者がさらに連携を深めていくことが必要です。さらに、接続期の保育の充実のため、今後も継続して幼児教育アドバイザー巡回を行う必要があります。	第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっ子すくすく計画(第3次)